

臨床研究「前立腺がん陽子線治療における非剛体レジストレーションを用いた骨盤周辺領域の体内臓器の位置ずれ解析」について

筑波大学附属病院陽子線治療センターでは、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究の目的は、非剛体画像レジストレーション（deformable image registration ; DIR）を用いて骨盤の周りのすべての臓器の変形、移動を体積的に定量し、解析指標を考案、ここから前立腺の内部移動に関与する因子を明らかにすることです。内部移動に関与する因子を特定することで、新しい固定具や、解析指標を特徴量とした位置ずれ予測システムの開発などへつながると予想されます。これによって、放射線治療中の前立腺やその他骨盤内臓器の臓器位置の再現性の向上を図ることができ、陽子線治療の精度、治療効果が向上することが期待されます。

② 研究対象者

2020年4月から2025年3月までに当院で放射線治療を受けた前立腺がん患者さん。

③ 研究期間：研究機関の長による研究実施許可後 ～ 2025年3月31日まで

④ 試料・情報の利用及び提供を開始する日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始日：2023年12月20日

提供開始日：該当なし。

⑤ 研究の方法

この研究は観察研究であり、患者さんの放射線治療計画時に取得された治療用計画CT画像と放射線治療時に取得された位置照合画像を使用して行います。治療計画画像と位置照合画像をDIRにより照合し、骨盤周辺領域の臓器の変化を定量解析によって評価します。

⑥ 試料・情報の項目

この研究では、放射線治療計画に使用されたCT画像と治療時に位置照合目的で取得した画像（コーンビームCT画像）を使用します。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 放射線治療品質管理室 （氏名）森 祐太郎

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

TEL : 029-853-7100 (PHS: 90663)、 E-mail : ymori@md.tsukuba.ac.jp

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線治療品質管理室（担当）森 祐太郎

電話番号： 029-853-7100 (PHS:90663) (平日 8:30～17:15)